

(中高生対象) 第3期京都大学 SDGs リーダー育成プログラム 募集要項

企画の目的

持続可能な開発目標 (SDGs) が 2015 年に国連で採択され、2030 年まで残り 8 年となりました。

その目標達成の要素の 1 つとして、社会問題の背景にある課題を整理し、複数の課題の関係性を分析することにより、統合的な解決へとリーチするための方策を導き出す『思考力』や『発想力』などを備え、『システム思考』で考えることのできる人材の育成が必要です。また、次世代を担う中高生が SDGs の目指す社会像を、「自分ごと」として理解し、自分たちで様々な課題に対する解決方法を模索し、実践していく経験が求められています。彼らが学校や地域における実践的な活動を牽引し、地域のリーダーとなりコミュニティを活性化することが、持続可能な社会の実現には不可欠です。そこで、そのためのリーダー候補を全国各地から公募し、育成することを本企画の主目的としています。加えて、本企画を通して SDGs や社会課題の解決に挑戦しようという人同士のつながりが創出され、時に世代や立場も超えて、互いの想いを交わし、活動状況を共有し合えるネットワークが形成されることを期待しています。

※ここでの SDGs とは、国連の提唱する 17 のゴールにとらわれず、持続可能なコミュニティ及び世界を実現するために必要な「様々な社会課題を複眼的に検証する考え方」とします。

運営体制 (一部予定)

【主催】 京都大学

【共催】 京都超 SDGs コンソーシアム (<https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/>)、エコ〜るど京大、京都府立北桑田高校、京都市立京北小中学校 ほか 【協力】 修了生、京北地域の住民の皆さま

※本事業は、一部、日本生命財団環境問題研究助成の支援を受けて実施するものです。

開催期間 2022 年 6 月～2023 年 3 月 ※ただし、学業・受験や個人の事情等にあわせて相談に応じます。

開催内容

- ①オンラインゼミ：講義及びグループディスカッション
- ②グループワーク：テーマや関心により数名のグループに分かれて検討し提言 (実証)
- ③SDGs に関する活動発表 (任意)：何らかの取り組みを実施している人の発表及び議論
- ④実地研修：京都市右京区京北地域での合宿、全国数か所における企業・団体訪問等

※オンラインゼミは原則的に第 2、第 4 土曜日の 15:30～17:30 に開催します。当日参加できない場合、録画をご覧頂き、出席に変えることも可能です。※実地研修は任意参加となります。

※新型コロナウイルス感染症拡大を考慮して実地研修の開催時期・形態を検討します。

※最新プログラムは、こちらからご確認ください。<https://eco.kyoto-u.ac.jp/>

出願資格 ①応募時に中学 3 年生、高校 1 年生、高校 2 年生 (※中等教育学校の場合は 3 年、4 年、5 年)。

- ②次世代のリーダーの在り方、環境問題や SDGs に関する活動に興味関心のある方
- ③オンラインゼミ (Zoom を利用) に参加できる環境を用意できる方

募集定員 約 50 名

出願期間 2022 年 4 月 1 日 (金) 12 時 ～ 2022 年 5 月 16 日 (月) 17 時 まで

最終的な成果について

【課題】 SDGs の視点で、里山などの地域が抱える課題について検討し、自分たちがリーダーとなってこれからの未来にどのような行動を起こすべきかグループで議論し、企画をまとめ、プレゼンテーションしてください。

■発表までのワークフロー (予定)

- ・2022 年 8 月 京都市の里山地域である京北を訪問し、地元の人と交流・体験を通して里山の維持の困難さと魅力の両面を知る。
- ・2023 年 1 月 2 月 グループワークで、メンターからの支援も受けながら、調査や議論を行う。
- ・2023 年 3 月 修了式で発表し、講師や関係者からフィードバックを受ける。

修了要件 オンラインゼミへの出席状況や参加態度、レポート内容、グループワークや実地研修の参加・貢献状況を総合的に評価し、講師陣やメンターが合格と認めた者へは、修了証を発行します。

応募形態 個人応募（ただし、学校を通しての複数名の推薦や応募を妨げるものではありません）

選考実施方法 提出書類による書類選考

参加費用 オンラインゼミは無料（通信費用は自己負担）。現地実習（合宿含む）については、集合・解散場所までの交通費及び宿泊費・食費は自己負担。※京北合宿は2泊4食で1万円程度の予定。

応募課題 次の①～③の課題全てについて600字程度で記述してください。※ポイントを押さえつつ、できるだけ簡潔なものが望ましいが、自分の考え等を表現するために分量が増える場合は、制限を設けない。

① 課題文1：SDGsに対するあなたの考えや思いを記述してください。既にSDGsに関する取り組みを行っている方はその内容も合わせて記述してください。

② 課題文2：日本の中山間地域に関する課題を1つ挙げ、それに対する解決策を考えて記述してください。

③ 課題文3：あなたが「リーダー」だと思う人物を1人挙げ、その理由も含めてこれからの時代を牽引するリーダーに必要なと思う素養・能力について記述してください。

応募方法

① Google form からオンライン応募 (<https://forms.gle/pbZBmmVtvkR4uGrC7>)

② メール応募：課題文をワードファイル等に記載し、★の内容を書き添えてメールに添付して、事務局 (ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp) に送付してください。※フォームはWEB (<https://eco.kyoto-u.ac.jp/>) から入手できますので、活用頂いても結構です。

送付先：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学地球環境学堂 浅利美鈴研究室「SDGs 研修係」

★記載頂きたい内容：1) 名前、2) 学校名、3) 所在都道府県、4) 学年、5) メールアドレス、6) 電話番号、7) 緊急連絡先（携帯電話）、8) 自宅住所、9) 推薦者名（先生のお名前 ※任意）
10) 京都大学 SDGs リーダー育成プログラムを知ったきっかけは何ですか？（学校の先生／チラシ・ポスター／SNS（Twitter, Instagram, Facebook 等）／京都大学の HP／友人、修了生／その他）
11) SDGs について知ったきっかけは何ですか？（ウェブメディア／テレビ番組／新聞記事、雑誌など／学校の授業／広告（チラシ、CM 等）／イベント、オンラインイベント／家族、友人から／その他）
12) SDGs を知った後に何か行動を起こしたことがありますか？（このような考えに関係があるような企業の商品を買ったり、投資をしたりしている／このような考えに関係があるようなボランティア活動や NPO 活動に参加・協力している／このような考えに関係があるようなことを個人的に実践している）
13) 12) について、差しさわりのない範囲で行動の内容を記述してください。

選考結果の通知 2022年5月30日（月） ※選考の基準等については開示いたしません。

※選考後、参加にあたっては保護者の同意書の提出が必要となります。

参加辞退手続 2022年6月3日（金）17時までにメールにて連絡してください

連絡先アドレス：ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp

追加選考の通知 辞退者が出た場合、追加選考を決定する可能性があります。対象者には2022年6月6日（月）正午までにメールにて通知します。

個人情報の取り扱いについて 応募の際に提出していただいた個人情報は、選考結果の通知の以外には使用しません。取得した個人情報は管理責任者を定め、紛失や漏洩などが発生しないよう安全対策を実施いたします。

問い合わせ先 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学地球環境学堂 浅利美鈴研究室「SDGs 研修係」
電話：075-753-5922 メール：ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp 最新情報：<https://eco.kyoto-u.ac.jp/>

「未来を変える活動に挑戦したいと思う皆さんの応募をスタッフ一同、お待ちしております。」